

■源信 公卿。嵯峨源氏の祖。皇子初の源氏賜姓。当然の出世で左大臣に至るも、応天門の変で疑いかけられ、鬱に。

みなもとのまこと

嵯峨の変・・・810＝ 広井氏を母に、_嵯峨天皇の皇子に生まれる。

凌雲集・・・814＝ 4歳：_臣籍に下り、皇子で最初の源朝臣の氏姓を賜わる。
・・・815＝ 5歳：弟弘・常らとともに左京に貫付され、戸主となった。

・・・819＝ 9歳：

嵯峨上皇・・・823＝13歳：

桓武平氏始・825＝15歳：従四位上に叙せられた。
・・・826＝16歳：侍従を経て治部卿となる。

・・・828＝18歳：播磨権守を兼任。

・・・831＝21歳：***参議を拜命。**
・・・832＝22歳：正四位下に進み、左兵衛督となる。
・・・833＝23歳：従三位に昇る。

空海没・・・835＝25歳：正三位に進み、近江守を兼任。左近衛中将にうつる。

遣唐使再遭難 837＝27歳：_左衛門督となった。

・・・841＝31歳：武蔵守を兼任。
承和の変・・・842＝32歳：中納言を拜命。

良房右大臣・846＝36歳：

俘囚反乱始・848＝38歳：大納言に昇任。

文徳天皇即位 850＝40歳：従二位に昇り、東宮博を兼任。

・・・854＝44歳：右近衛大将を兼任。
・・・855＝45歳：

国守追及始・857＝47歳：***左大臣に任ぜられた。**
人民摂政の実 858＝48歳：正二位に昇る。書伝を読み、草隷・図画に巧みで、音楽の道にも通じた。射獵をも好み、
・・・859＝49歳：遊獵の地として摂津国河辺郡為奈野を賜わる。_この頃から大納言伴善男との間に隙が生じ、

富士山噴火・864＝54歳：***信が弟の融・勤らとともに反逆を謀っているとの投書があり、善男はこれに乗じて信を陥れようとし、**
・・・865＝55歳：_信の家人清原春滝ら武勇にすぐれた者が地方官に任ぜられ、信の家の武力が削がれた。
応天門の変・866＝56歳：_善男は右大臣藤原良相と相談し、信の家を包囲しようとしたが、急を知った太政大臣藤原良房の上奏によって事なきを得た。「大鏡裏書」では、この事件を応天門の焼失後とし、良相と善男が応天門焼失を信の仕業と断じたとする。この年、勅によって鷹3聯・鶴2聯を飼うことを許されている。そののち応天門の変によって、善男は失脚したが、信も門を閉ざして敢えて外出せず、憂情を慰めんがため摂津国へ赴き、
貞観格成立・869＝59歳：***狩獵中、落馬したことが原因で、没した。正一位を追贈された。**